

各位

会社名 河西工業株式会社
代表者名 代表取締役社長 社長役員 半谷 勝二
(コード：7256 東証スタンダード)
問合せ先 専務役員 小川 耕一
(TEL：0467-75-1125)

第93期有価証券報告書（自2023年4月1日 至2024年3月31日）の 提出期限の延長申請の検討に関するお知らせ

当社は、2024年7月1日が法定提出期限である2024年3月有価証券報告書につきまして、提出期限の延長を検討しておりますことをお知らせいたします。

記

1. 有価証券報告書提出期限延長に係る承認申請の検討

当社の連結子会社であるKASAI MEXICANA S. A. DE C. V.（以下「KMEX」といいます。）においては、2022年12月期（当社における2023年3月期）及び2023年12月期（当社における2024年3月）において、過年度に起因する多数の誤り（売掛金・固定資産の減価償却等の計上相違など）を発見していましたが、それらに加えて、決算作業の過程で、更には為替換算（ペソ/ドル）の計算方法の過年度からの相違が判明し、誤りの累計金額が増大しました。その結果、監査人とも協議の上、過年度に遡って各年度及び四半期の連結財務諸表の訂正作業等を行うこととなりました。

過年度訂正を行ったうえで、有価証券報告書の提出期限に間に合わせるべく、監査人にも全面的な協力を得ながら、KMEX・日本本社及び外部専門家が協働して最大限の努力を行っておりますが、①2019年から2020年にかけて、KMEXにおいてスタッフの削減・退職があり、また、2020年以降、米国会計基準対応（為替換算作業を含む。）などの業務についての内製化が行われたものの、これらにあたって十分な引継ぎが行われず、また、当時のスタッフが大量退職したことからこれまでの経緯やノウハウ等が引き継がれていないこと、②2021年にKMEXにおいて新システムに移行したものの、システム移行にあたって、事前の理解や準備が不足していたことから、新システムへの移行データの信頼性も不十分なものとなっており、2021年以前のデータへの遡及にあたって、項目によっては紙ベースの手作業が必要になっていること、③KMEXが2022年に行った移管作業の過程でオペレーションミス（入力相違、遺漏、二重入力等）が発生し、過去データの信頼性が更に低下する結果となったこと等から、複数回再計算をやり直す必要が生じ、また訂正・金額の確定作業にも多大な時間を要しています。

上記のとおり、現在、過年度分を含め金額確定作業を鋭意進めておりますが、現時点においてはまだ当該金額が確定しておらず、過年度含めた訂正報告書に含める連結財務諸表及び連結四半期財務諸表ドラフト並びに2024年3月期の有価証券報告書に含める連結財務諸表ドラフトについて監査人に提示できていない状況にあります。

監査人には、当該金額が確定しない中でも、過年度の監査及び四半期レビューを並行して実施して頂いていますが、最終的には追加で修正すべき数値を確定させ、当該数値を仕訳に落とし込んだうえで、これを元に作成した財務諸表ドラフトを監査して頂くことが必要となります。

また訂正すべき期間が広範にわたり（対象：3年/12四半期）修正すべき事項も広範囲にわたることなどから、監査終了までには一定時間を要するものと伺っております。

このようなことから、今般、2024年3月期有価証券報告書の提出期限の延長申請を検討することといたしました。

2. 今後の見通し

2024年3月期有価証券報告書については2024年7月1日が法定提出期限となっておりますが、関係各所との確認が取れ次第、方向性が定まった段階で速やかにお知らせいたします。

株主及び投資家の皆様をはじめ、関係者の皆様には多大なご心配とご迷惑をおかけしておりますことを深くお詫び申し上げます。

以上